

私が今回このフォーラムに参加したのは単純に、日本人韓国人の友達を増やしたいという理由であった。正直日韓の歴史問題についてあまり詳しくなかった私は実際に討論でうまく話に参加できるかどうか不安を抱き、討論の時間が少し長すぎるのではないかと思ってできれば早めに討論の時間が過ぎればいとさえ思っていた。しかし始めてみると意外と自分の中に秘めていた思いや感情が飛び出し、自分にも伝えたい気持ちや考えがあることに気づかされた。またさらに私には想像もできなかつた新たな事実を発見できたり、在日コリアンである当事者や韓国人、日本人のそれぞれの視点で見た話を聞くことができたりと、とても意味のある大切な時間となった。討論のチーム内では初めのうちはみんな緊張をしていたことと、また「討論」というお堅い言葉に縛られていたこともありそれぞれが個人個人、他人同士というような雰囲気時間が進んでいった。だが、徐々に食事や発表の準備を進め時間が経過していくとともにチームのメンバーみんなが和やかなムードになり打ち解けていくのがわかった。お互いの属する国と国の間で関係が悪化していても、何か一つのことに対して一緒に切磋琢磨して取り組むことで人は案外簡単に仲良くなることができるんだと感じた。

現在日韓関係最悪、関係改善困難とまで言われていることはおそらく両国民全員が認識しているだろう。しかしそんな時期であっても民間レベルでは分かち合い、仲良くなれるということが再確認できた。私の身の回りには韓国に現在留学している友達や、旅行に行っている友達がいる。そんな彼らはデモや不買運動を実際に韓国の街中で目にすることは多いという。それでもみな口をそろえて言うのが日本人だからといって生活に不便や支障が出るような例えば嫌がらせや差別的取扱いを受けたことはないということだ。だが反対に今韓国に行くのは心配だから控えよう、韓国は過激で怖い国だ、と不安感や嫌悪感を抱き恐れている人がいるのも事実だ。おそらくこれは連日報道されるテレビや新聞によるメディアの情報が影響していると考えられる。私たち国民は今本当に何が起きているのか、過剰に報道されていないか、報道内容に誤りや偏った見方は存在していないかしっかりと見極める必要がある。新聞記事の見出しやテレビ特集のテロップ表示をみただけで分かったつもりになるのではなく最後まで内容を確認した上で自分の中で考えなくてはならない。情報をそのまま受け取るのではなく各々が判断することが重要だ。無知で知ったかぶりや、もっと言えば無関心ほど怖いものはない。特に私たちの世代はこれから社会を担っていく存在になる。そんな私たちだからこそもっと社会に関心を持ち将来について考えていくべきである。私は身の回りの友達や家族に今回の経験や日韓関係について得た知識に日々考えることについて少しでも多くのことを伝えたい。韓国人日本人に関わらず仲良くなれること、民間人を嫌う韓国人はいないこと、韓国はそれほど怖い国ではないこと。さらに今回のような交流は重要ものであると再認識したためぜひまた参加したいと思う。少しでも日韓の未来が明るくなることを心から願いながら。





